

道徳（人権）学習指導案

1 主 題 誇りをもって生きる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

同和問題を自分の問題としてとらえ、差別や偏見のない社会づくりに貢献しようとする態度を育てる。

4 指導計画

一人一人を大切に

『ぼくだけのこと』（絵本）（道徳）1時間

- ・自分は世界に一人だけのかげがえのない存在であると同時に、他の人もそれぞれ大切な存在であることに気付かせる。



学級人権宣言を作ろう（学級活動）1時間

- ・これまでの生活をふり返り、学級人権宣言を作り、互いの人権を尊重する態度を育てる。



同和かるたから学ぼう（学級活動）1時間

- ・同和かるたに込められた思いを知り、部落差別についての理解を深め、それを解消しようとする意識を育てる。



自分の心を見つめる

『迷信と部落差別』（わたしの願い）（道徳）2時間

- ・身の回りの事例を基に、迷信を信じる心理を探り、その不合理さに気付かせる。



誇りをもって生きる

『峠』（私たちの道徳）（道徳）3時間 本時3/3

- ・互いの人権を尊重し合える社会を築くために、自分がどのように行動するべきかを考え、差別を解消しようとする態度を育てる。

学級目標・学級の約束を作ろう

（学級活動）2時間

- ・話し合いで学級の目標と5つの約束を作り、よい学級をつくろうとする意欲を一人一人にもたせる。



役割と責任

（学級活動）1時間

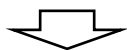
- ・自分がどのような集団に所属し、どのような役割を担っているかを考え、これまでの自分をふり返る。



人権かるた・人権作文

（学級活動）3時間

- ・人権かるたを通して、様々な人権問題に関心をもち、差別解消に向けて実践力を養う。
- ・人権作文を書き、自己を見つめ、これからどのように行動するべきかを考える。



公平な社会の実現を目指して

『許せない就職差別』（わたしの願い）（学級活動）2時間

- ・これまでの同和問題をはじめとする様々な人権問題の学習を通して、就職差別を解決していくための知識を身に付け、実践力を育てる。

5 本時の学習

(1) 目標

同和問題を自分の問題としてとらえ、互いの人権を尊重し合える社会を築くために、自分がどのように行動するべきかを考え、差別を解消しようとする態度を育てる。

(2) 普遍的な学習のテーマ 人権と差別

個人人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 前時の学習をふり返る。	○資料の内容について、簡単な質問をしながら内容を確認し、生徒が考えを深められるよう準備をする。
2 招待状をながめたときの恵子と幸司の気持ちを班で考え、発表する。	○班で出た意見をホワイトボードに書かせ、活発な意見交換ができるようにする。①
3 招待状の「美しさを求めて生きる」とはどのような意味かを班で考え、発表する。	○招待状に書かれている「美しさ」と恵子の母親の言葉の「美しく生きられる」を対比させ、「本当の美しい生き方」を考えさせる。①
4 幸司のように、「誇りを持った生き方」をするためには、自分はどのように行動するべきかを考え、発表する。	○生徒が考えをまとめることができるよう十分な時間をとり、その後発表させる。①②

(4) 評価

- ・同和問題を自分の問題としてとらえ、自分がこれからどのように行動するべきかを考えることができたか。 (価値的・態度的側面) ①
- ・自分の思いや考えを発表し、伝えることができたか。 (技能的側面) ②